

## アレルギー疾患医療連携体制の構築に係る調査結果について

## 1 調査対象

- ・ 県内の病院 287 施設
- ・ 県内の関係診療所 77 施設  
(一般社団法人日本アレルギー学会ホームページに掲載している、「専門医・指導医一覧 (一般用)」から診療所を抽出)

## 2 方法

病院には平成30年11月30日付け、関係診療所には12月7日付けで「本県のアレルギー疾患医療連携体制の構築等に向けた協力依頼について (依頼)」により調査票を送付し、FAXにより回収した。

## 3 回答数

- ・ 病院：166 施設 (回答率  $166/287=57.8\%$ )  
なお、アレルギー専門医教育研修施設20施設のうち、19施設の回答あり。
- ・ 関係診療所：42 施設 (回答率  $42/77=54.5\%$ )

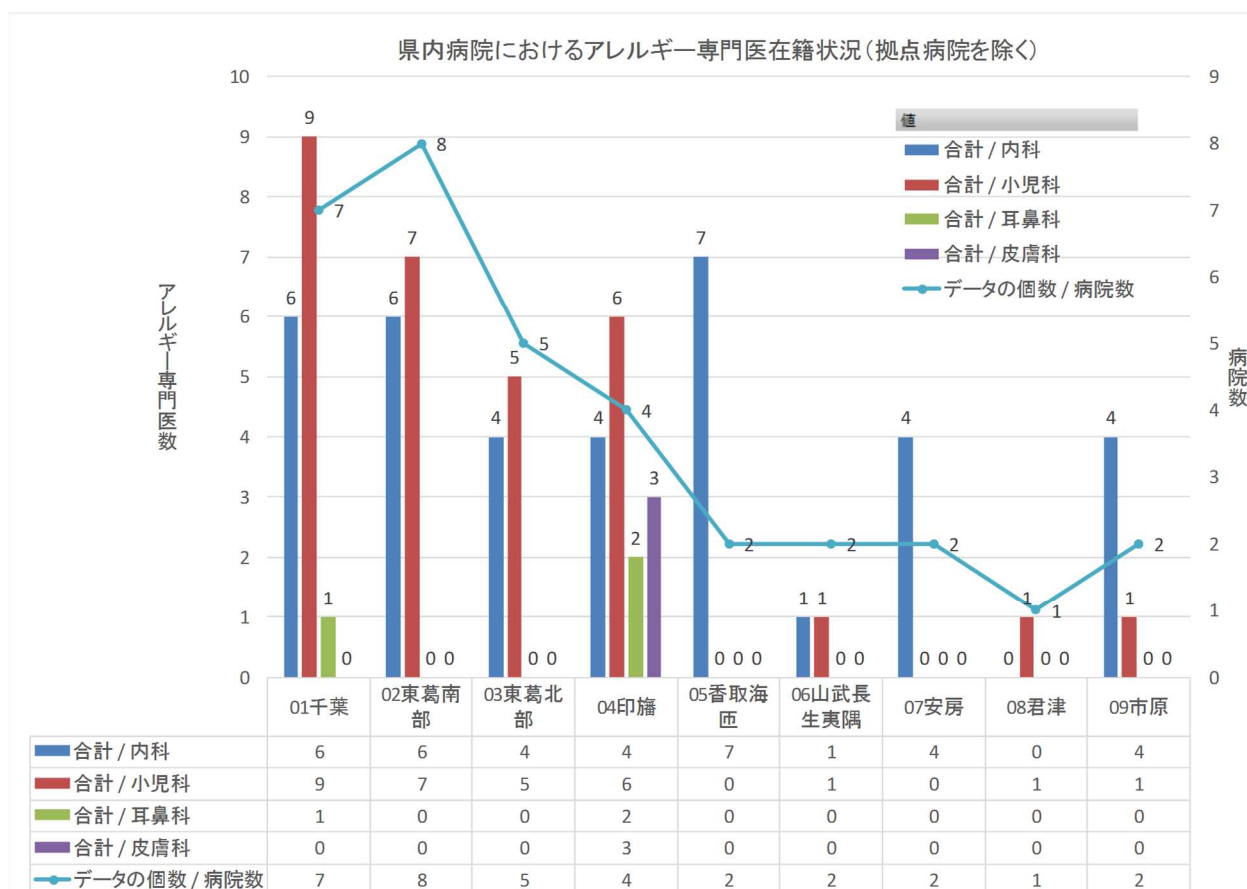
## 4 調査項目

- (1) 日本アレルギー学会認定「アレルギー専門医」の在籍状況  
(基盤科として内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科の内訳)
- (2) アレルギー疾患診療 (診断・治療・管理) の状況  
アレルギー疾患医療拠点病院の役割の具体的内容にある「診療」に関する18項目を参考に設定した。  
※「アレルギー専門医」が在籍する施設のみ回答。
- (3) 日本小児臨床アレルギー学会認定「小児アレルギーエドゥケーター」の在籍状況  
(職種として看護師、助産師、薬剤師、管理栄養士の内訳)
- (4) その他  
拠点病院が開設するホームページへの掲載可否  
在籍する小児アレルギーエドゥケーターの拠点病院事業への協力可否

# 結果

## 1-1 県内病院におけるアレルギー専門医の在籍状況（拠点病院は除く）

- ・回答のあった166施設のうち、33病院にアレルギー専門医が在籍
- ・回答のあったアレルギー専門医の各病院の合計人数は、72名（常勤・非常勤）
- ・アレルギー専門医の基盤科の内訳は、内科36名、小児科30名、耳鼻咽喉科3名、皮膚科3名。
- ・アレルギー専門医の在籍する病院は、東葛南部医療圏で最も多く8病院、次いで千葉医療圏で7施設、東葛北部医療圏で5施設となる。



1-2 県内病院におけるアレルギー専門医の在籍状況（拠点病院は除く）

・33病院の各病院のアレルギー専門医（72名）の配置状況は以下の表のとおり。

	医療圏	内科		小児科		耳鼻科		皮膚科	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
1	千葉	2							
2	千葉	1	2						
3	千葉	1							
4	千葉			1					
5	千葉			1					
6	千葉			1					
7	千葉			3	3	1			
8	東葛南部	1	1						
9	東葛南部	1							
10	東葛南部	1							
11	東葛南部	1							
12	東葛南部			1	1				
13	東葛南部				1				
14	東葛南部				1				
15	東葛南部	1			3				
16	東葛北部	3							
17	東葛北部			1	1				
18	東葛北部			1					
19	東葛北部			1					
20	東葛北部	1		1					
21	印旛			2	2				
22	印旛						2	2	
23	印旛	1	1		1				
24	印旛	2			1			1	
25	香取海匠	2	3						
26	香取海匠		2						
27	山武長生夷隅	1							
28	山武長生夷隅				1				
29	安房	2	1						
30	安房	1							
31	君津			1					
32	市原	1							
33	市原		3	1					
小計		23	13	15	15	1	2	3	0
合計		36		30		3		3	

・アレルギー専門医の診療科配置状況については以下のとおり。

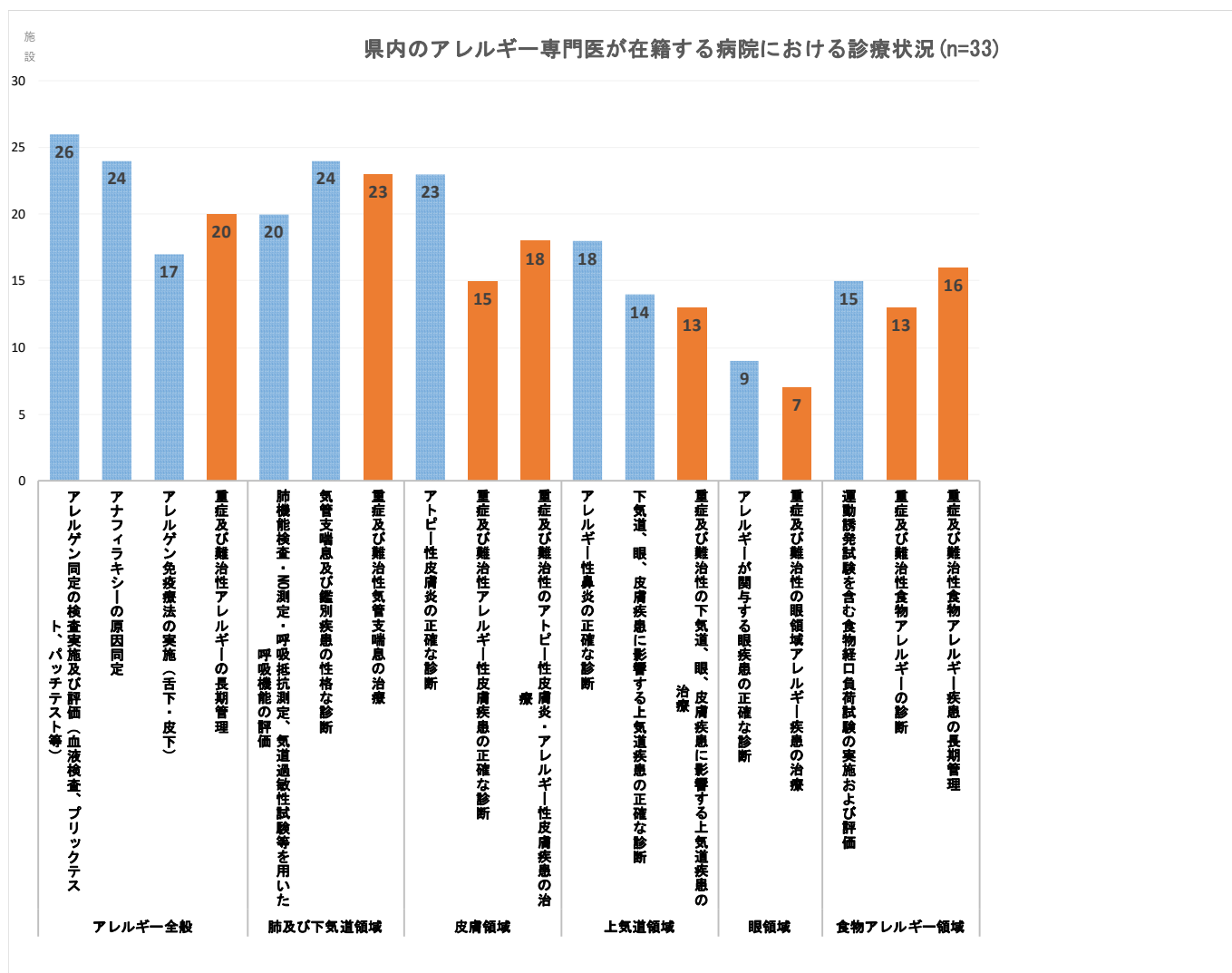
内科のみ	小児科のみ	内+小	小+耳	耳+皮	内+小+皮	合計
14	12	4	1	1	1	33病院

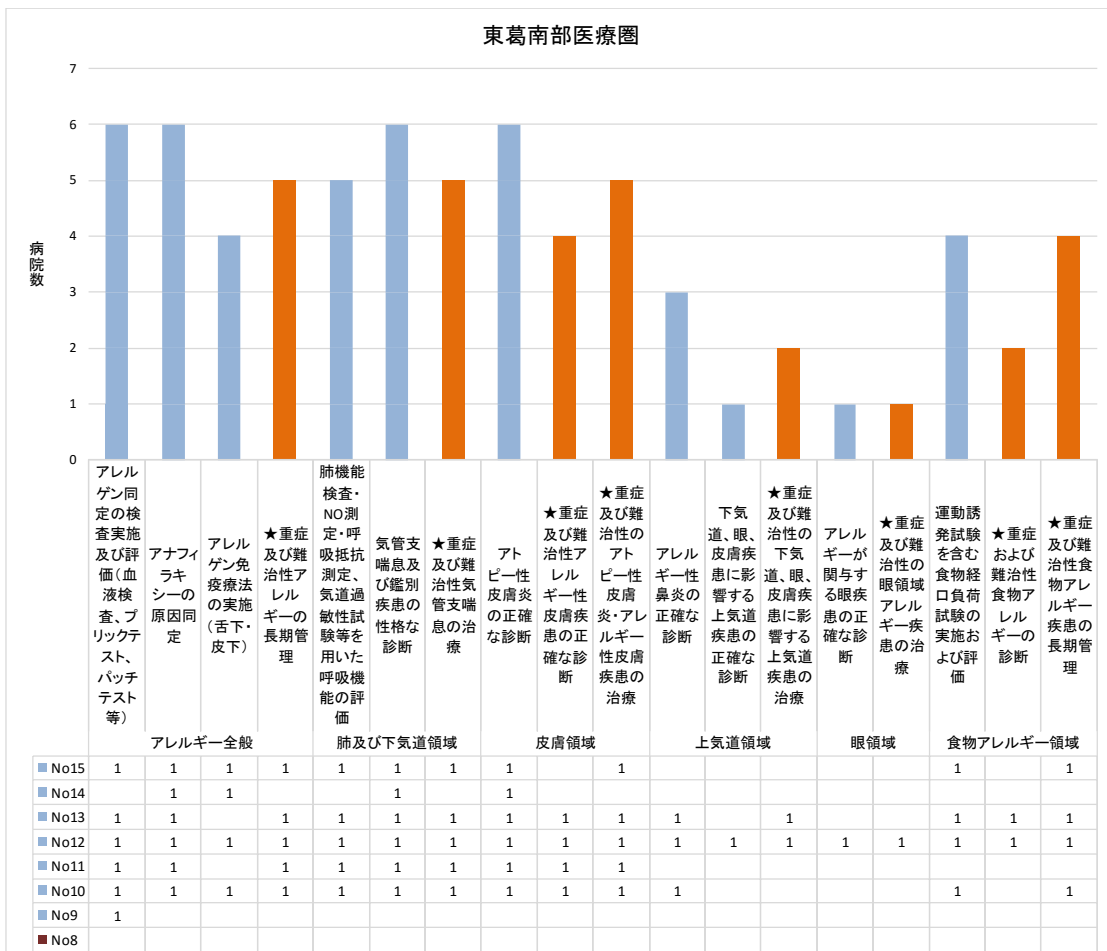
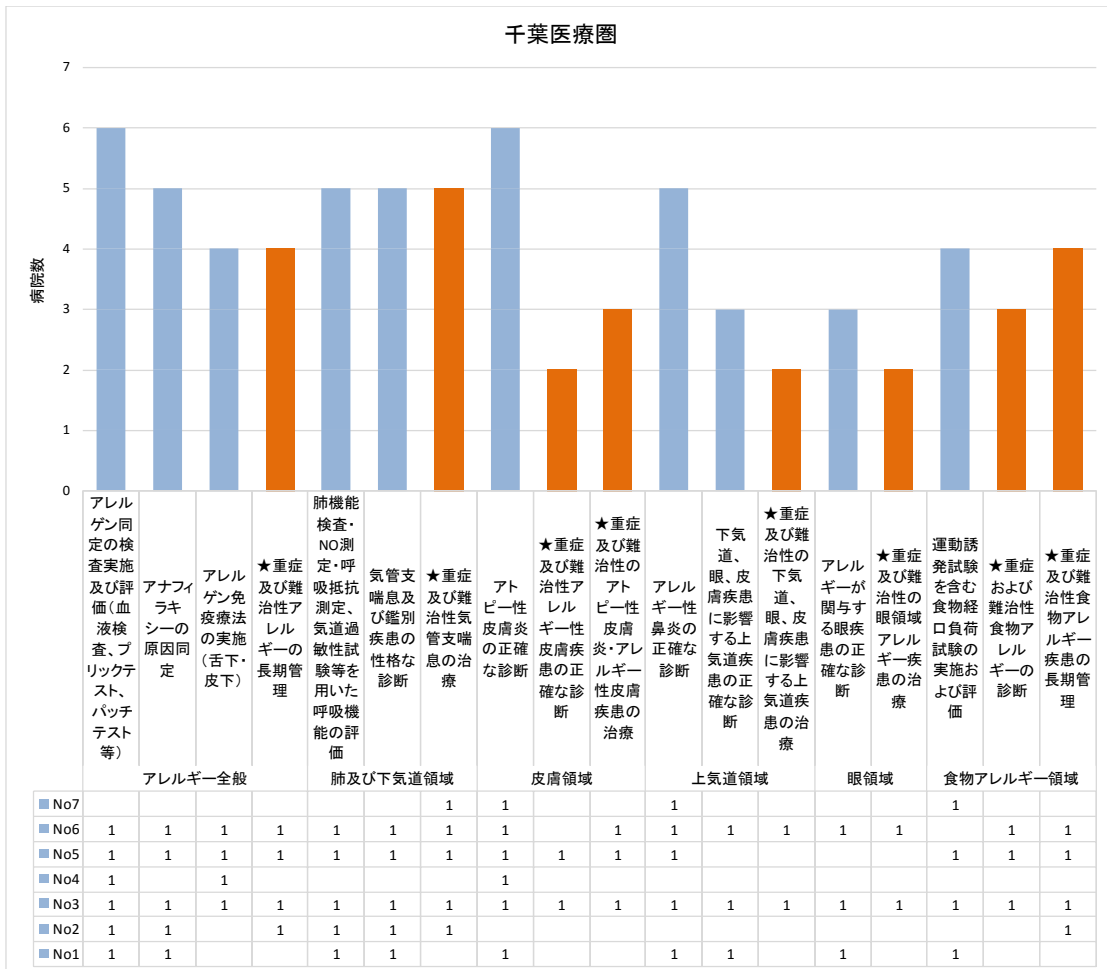
### 1-3 アレルギー専門医の在籍する病院における診療状況（拠点病院は除く）

- ・アレルギー専門医の在籍する病院（回答33病院）における、アレルギー疾患診療に関する診療内容は、以下のとおり。
- ・各医療圏における診療状況については、次ページ以降のとおり
- ・診療内容のうち、重症及び難治性疾患に関する診療※を1つ以上実施する病院は、25施設（25/33=75.6%）あった。

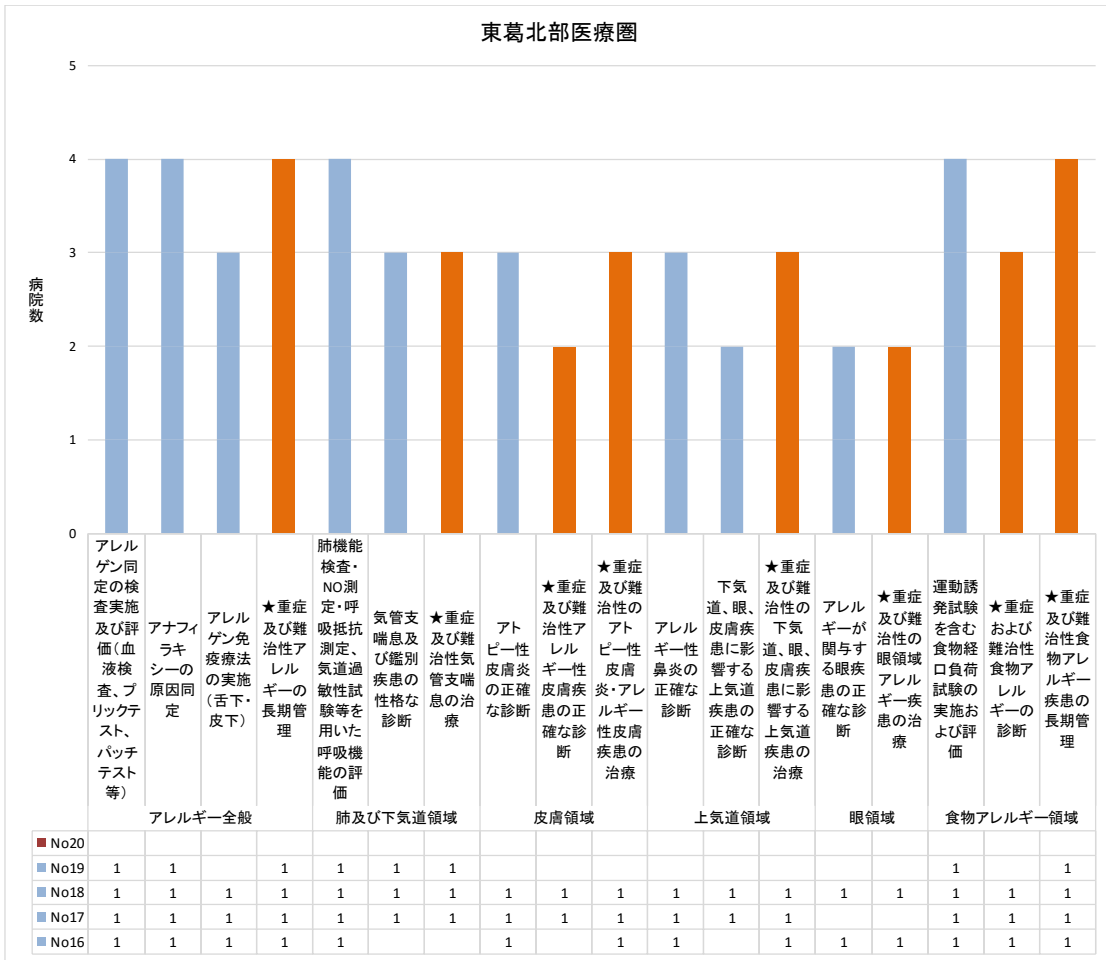
※ 重症及び難治性疾患に関する診療について

- ・重症及び難治性アレルギーの長期管理
- ・重症及び難治性気管支喘息の治療
- ・重症及び難治性アレルギー性皮膚疾患の正確な診断
- ・重症及び難治性のアトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚疾患の治療
- ・重症及び難治性の下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の治療
- ・重症及び難治性の眼領域アレルギー疾患の治療
- ・重症及び難治性食物アレルギーの診断
- ・重症及び難治性食物アレルギー疾患の長期管理

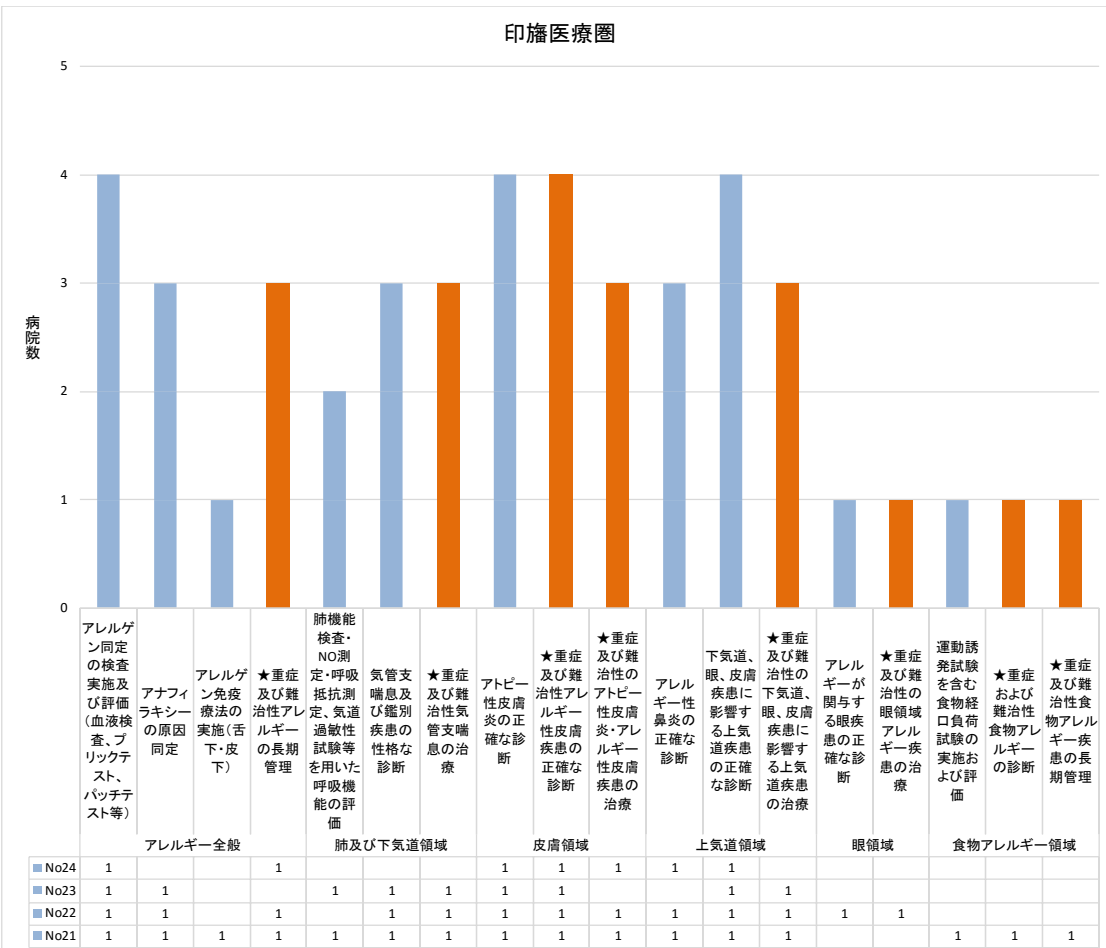




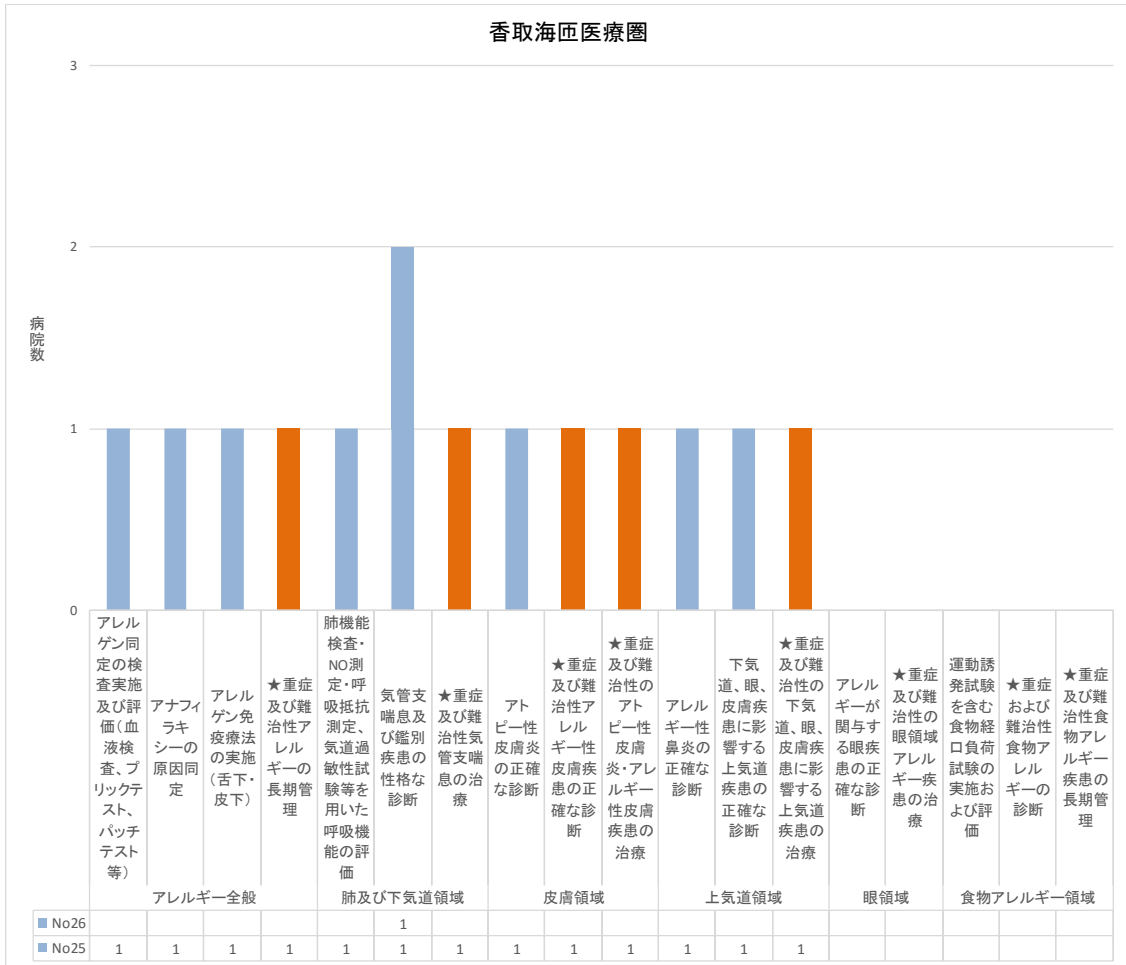
### 東葛北部医療圏



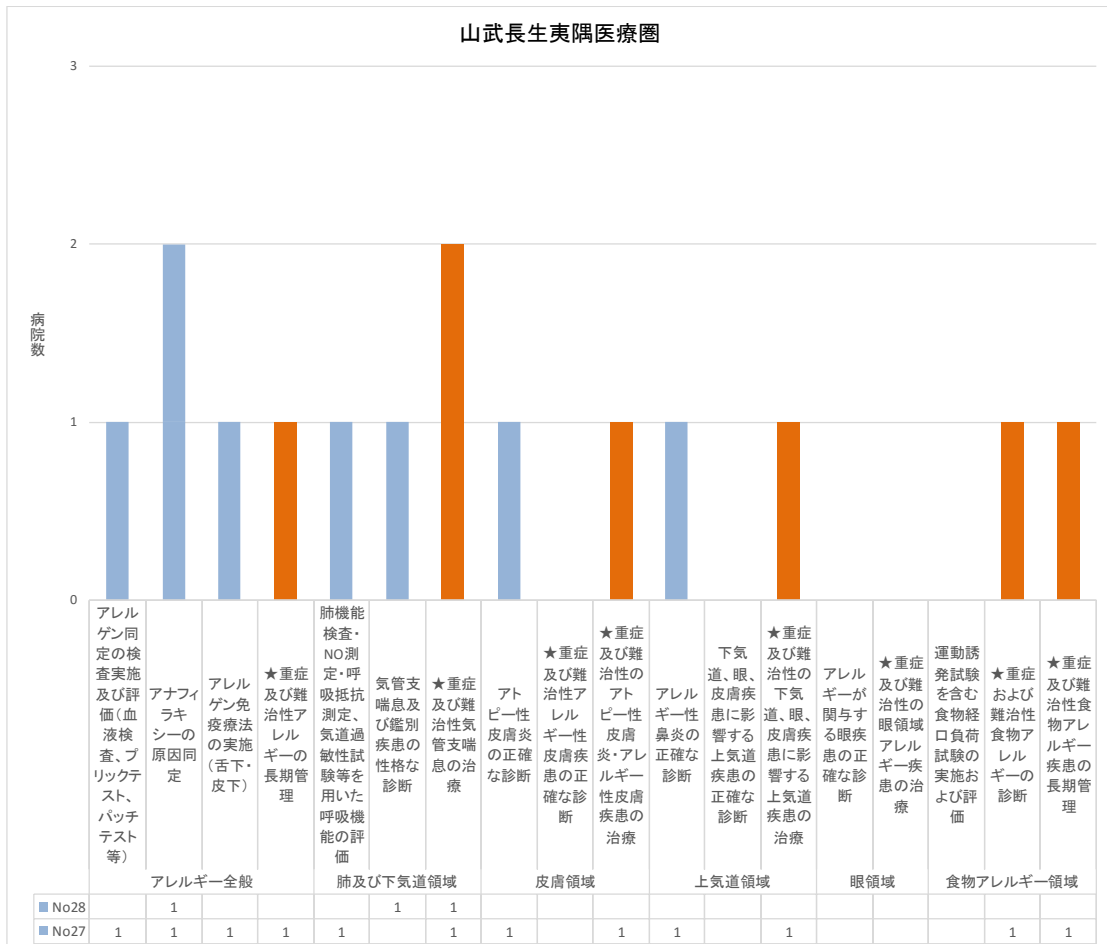
### 印旛医療圏



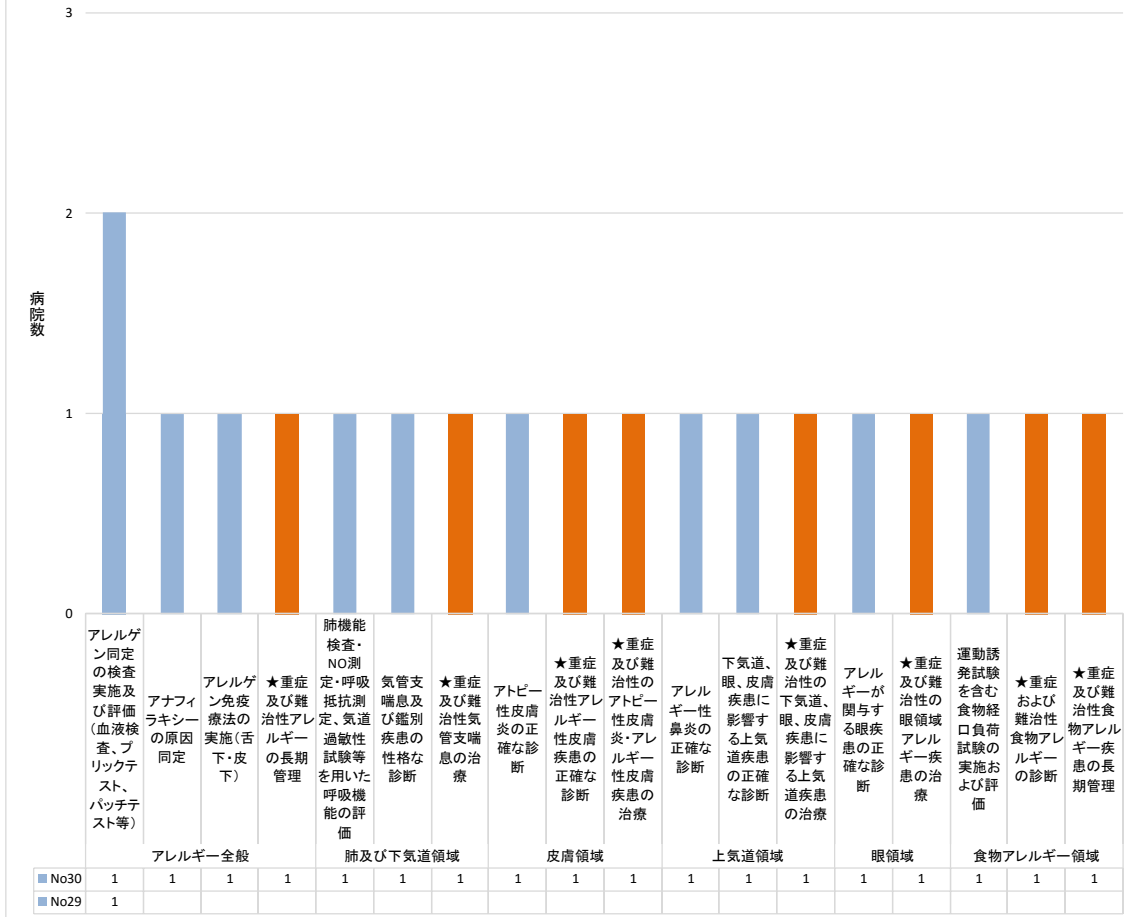
香取海匠医療圏



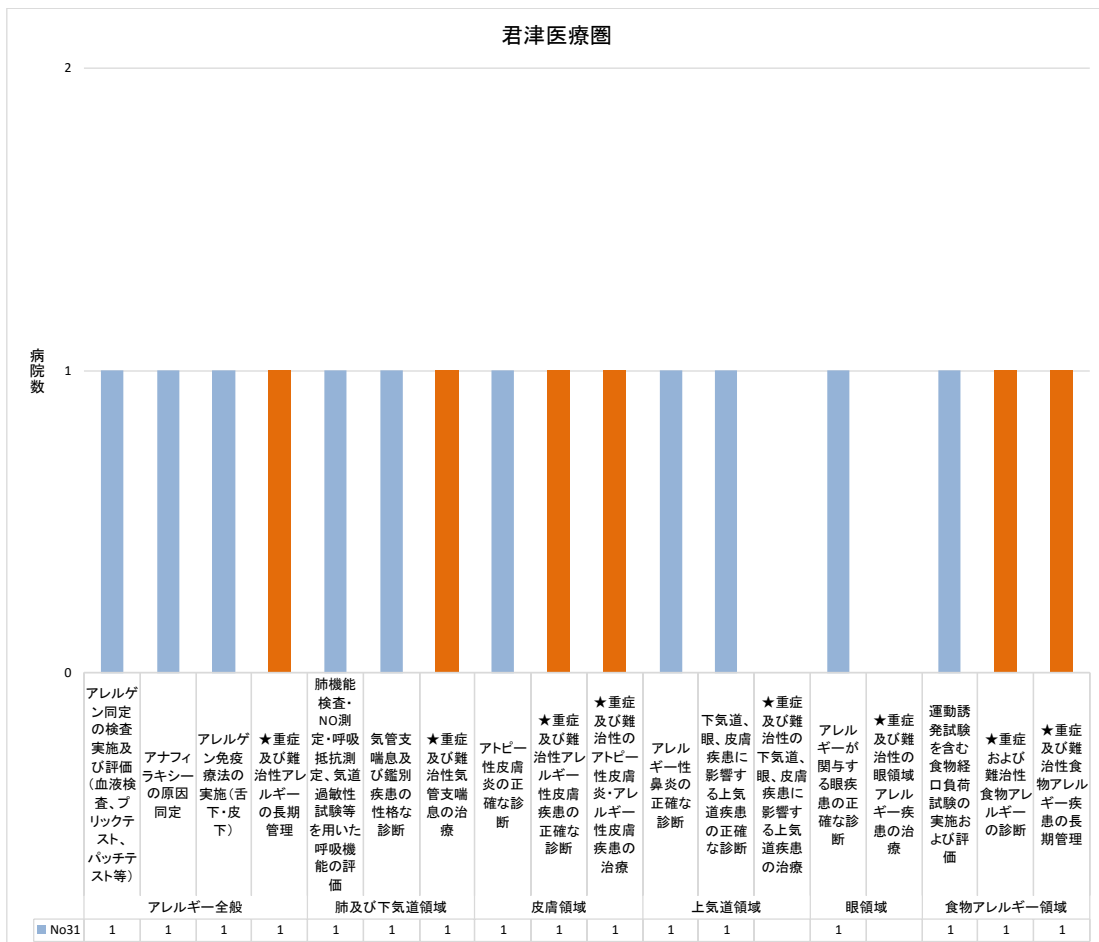
山武長生夷隅医療圏



### 安房医療圏

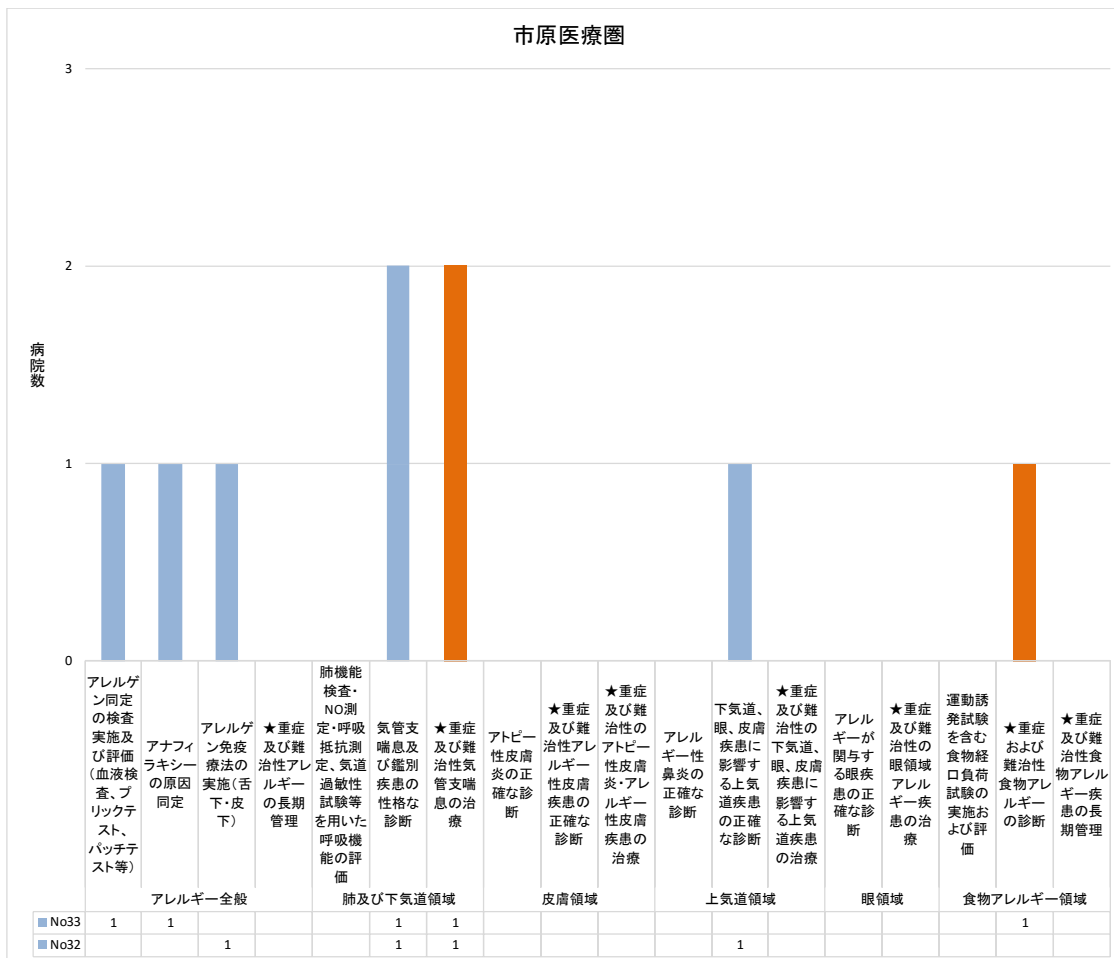


### 君津医療圏





市原医療圏



### 1-4 「重症及び難治性」に関する診療を実施する病院について

- ・アレルギー専門医が在籍する病院（回答33病院）のうち、重症及び難治性疾患に関する診療※を1つ以上実施する病院は、25施設（25/33=75.6%）あった。
- ・その病院は、各医療圏に1施設以上所在する。

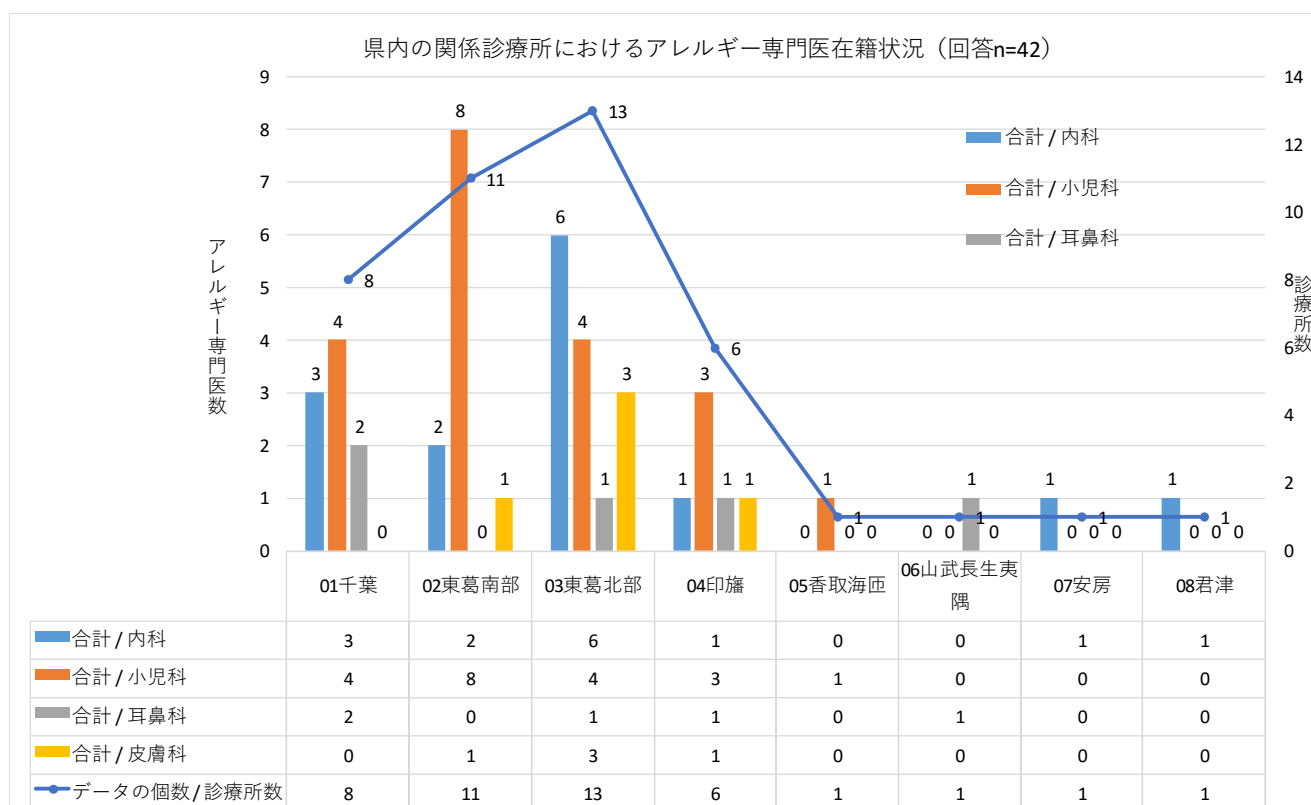
	医療圏	アレルギー全般	肺及び下気道領域	皮膚領域		上気道領域	眼領域	食物アレルギー領域		
		重症及び長期管理アレルギー	重症及び難治性気管支喘息の診療	診断 重症及び皮膚疾患の正確な	重症及び難治性のアレルギー性皮膚疾患の治療	重症及び難治性の下気道、眼、皮膚疾患の治療に影響	重症及び難治性のアレルギー疾患の眼領域	重症及び難治性食物アレルギーの診断	重症及び難治性食物アレルギーの長期管理	
1	千葉	1	1	1	1	1	1	1	1	8
2	千葉	1	1		1	1	1	1	1	7
3	千葉	1	1	1	1			1	1	6
4	千葉	1	1						1	3
5	千葉		1							1
6	東葛南部	1	1	1	1	1	1	1	1	8
7	東葛南部	1	1	1	1	1		1	1	7
8	東葛南部	1	1	1	1				1	5
9	東葛南部	1	1	1	1					4
10	東葛南部	1	1		1				1	4
11	東葛北部	1	1	1	1	1	1	1	1	8
12	東葛北部	1	1	1	1	1		1	1	7
13	東葛北部	1			1	1	1	1	1	6
14	東葛北部	1	1						1	3
15	印旛	1	1	1	1	1		1	1	7
16	印旛	1	1	1	1	1	1			6
17	印旛		1	1		1				3
18	印旛	1		1	1					3
19	香取海匝	1	1	1	1	1				5
20	山武長生夷隅	1	1		1	1		1	1	6
21	山武長生夷隅		1							1
22	安房	1	1	1	1	1	1	1	1	8
23	君津	1	1	1	1			1	1	6
24	市原		1					1		2
25	市原		1							1

#### 1 - 5 小児アレルギーエドゥケーター（P A E）の在籍状況等

- ・ 拠点病院を除く 5 病院に計 1 3 名の P A E が在籍している。
- ・ 職種内訳として、看護師 P A E が 1 1 名（常勤・非常勤）、薬剤師 P A E が 2 名（常勤・非常勤）で、助産師及び管理栄養士はいなかった。
- ・ P A E による拠点病院事業での研修会講師等の協力について、可能との回答だった。

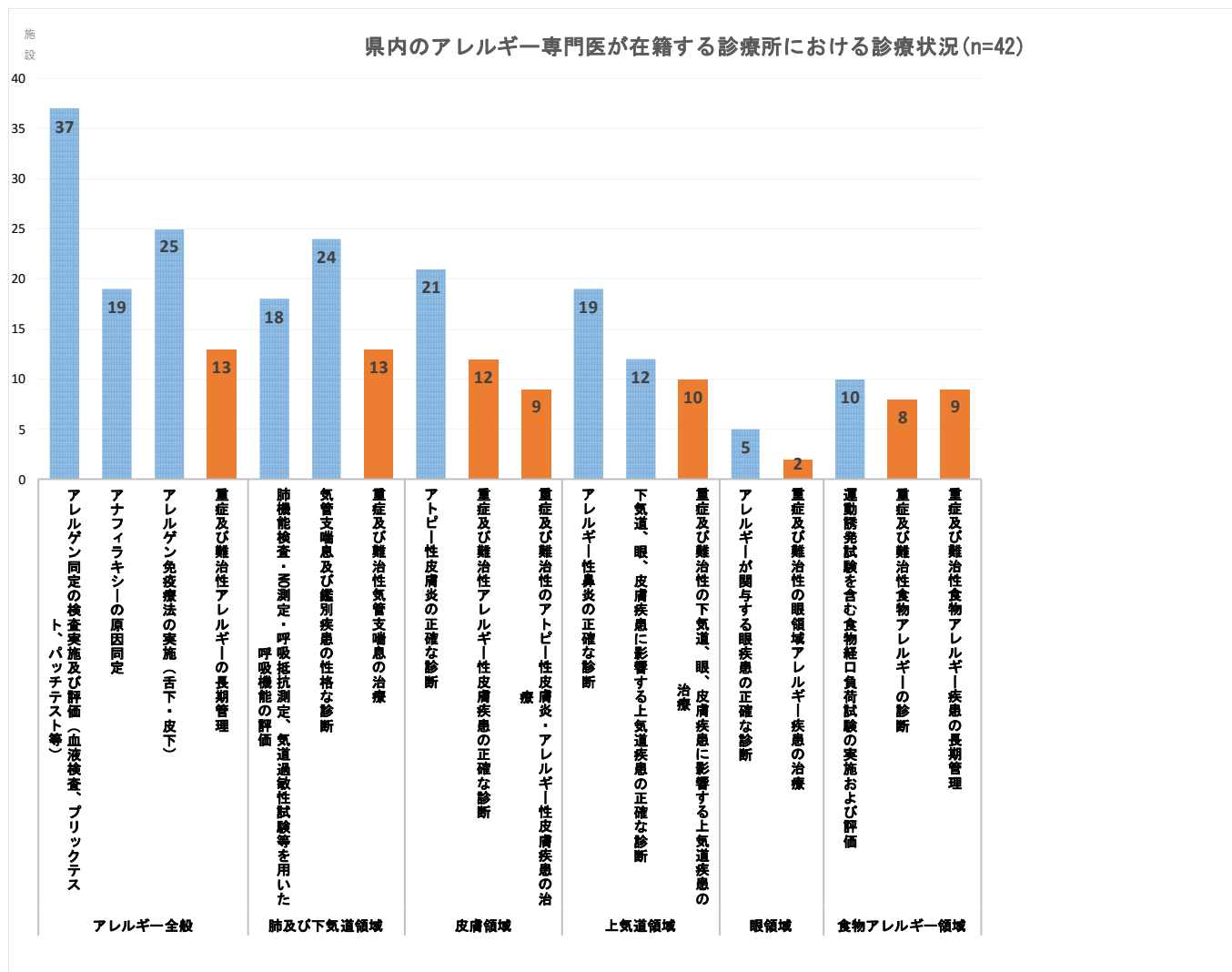
## 2-1 県内関係診療所におけるアレルギー専門医の在籍状況

- ・回答のあった42診療所にアレルギー専門医が在籍
- ・回答のあったアレルギー専門医の合計人数は、44名（常勤・非常勤）
- ・アレルギー専門医の基盤科の内訳は、内科14名、小児科20名、耳鼻咽喉科5名、皮膚科5名。
- ・アレルギー専門医の在籍する診療所は、東葛北部医療圏で最も多く13診療所、次いで東葛南部医療圏で11施設、千葉医療圏で8施設となる。なお、市原医療圏の回答はなかった。



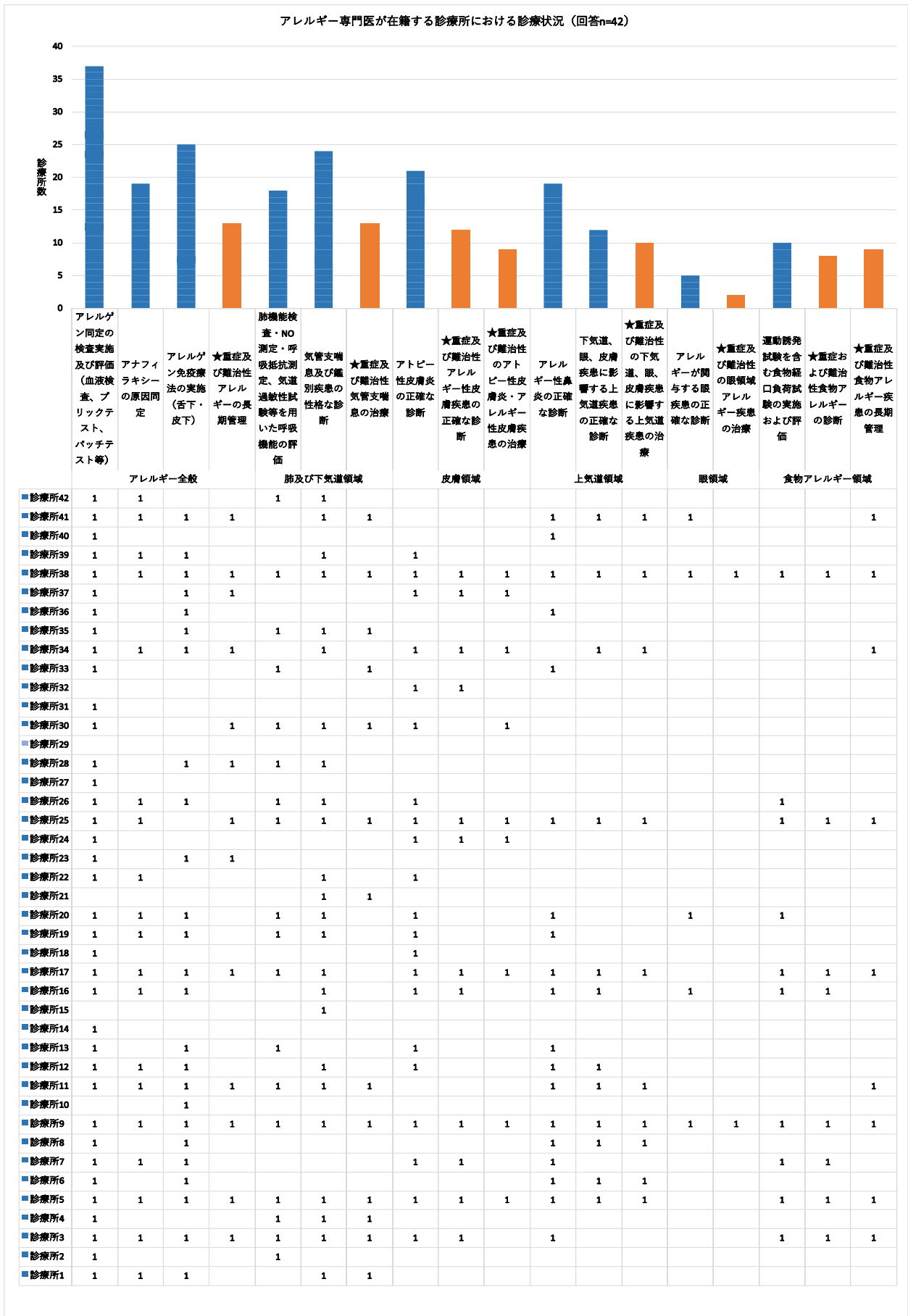
## 2-2 アレルギー専門医の在籍する診療所における診療状況

- アレルギー専門医の在籍する診療所における、アレルギー疾患診療内容は、以下のとおり。
- 診療内容のうち、重症及び難治性疾患に関する診療※を1つ以上実施する診療所は、24施設 (24/42=57.1%) あった。



## 2-2-2 アレルギー専門医の在籍する診療所における診療状況（診療所ごと）

・アレルギー疾患診療に関する各診療所の状況は、以下のとおり。



2-3 「重症及び難治性」に関する診療を実施する診療所について

- ・重症及び難治性疾患に関する診療を1つ以上実施すると回答した診療所は24施設 (24/42=57.1%)

	医療圏	アレルギー全般	肺及び下気道領域	皮膚領域		上気道領域	眼領域	食物アレルギー領域		
		重症及び難治性アレルギーの長期管理	重症及び難治性気管支喘息の治療	重症及び難治性アレルギー性皮膚疾患の正確な診断	重症及び難治性のアトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚疾患の治療	眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の治療	重症及び難治性の眼領域アレルギー疾患の治療	重症および難治性食物アレルギーの診断	重症及び難治性食物アレルギー疾患の長期管理	
1	千葉	1	1	1	1	1		1	1	7
2	千葉	1	1	1				1	1	5
3	千葉			1				1		2
4	千葉		1							1
5	千葉		1							1
6	千葉					1				1
7	千葉					1				1
8	東葛南部	1	1	1	1	1	1	1	1	8
9	東葛南部	1		1	1	1		1	1	6
10	東葛南部	1	1			1			1	4
11	東葛南部			1				1		2
12	東葛北部	1	1	1	1	1		1	1	7
13	東葛北部	1	1		1					3
14	東葛北部			1	1					2
15	東葛北部		1							1
16	東葛北部	1								1
17	東葛北部	1								1
18	東葛北部			1						1
19	印旛	1	1	1	1	1	1	1	1	8
20	印旛	1		1	1	1			1	5
21	印旛	1		1	1					3
22	印旛		1							1
23	印旛		1							1
24	安房	1	1			1			1	4

#### 2-4 小児アレルギーエディケーター（PAE）の在籍状況等

- 1 診療所に 1 名の PAE が在籍し、今後 PAE 取得予定者のある 1 診療所あり
- 職種内訳として、看護師 PAE が 1 名
- PAE による拠点病院事業での研修会講師等の協力について、可能との回答だった。



千葉大学医学部附属病院アレルギーセンター（小児科） 駒屋宛て FAX：043-226-2293

施設名 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_  
 ご担当者 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_  
 FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

1 貴院に、日本アレルギー学会認定「アレルギー専門医」は在籍していますか。  
 【 はい ・ いいえ 】 → 「はい」の場合、以下1-2、1-3、1-4について、教えてください。

1-2 貴院における「アレルギー専門医」の在籍状況について教えてください。

アレルギー専門医（内科）	常勤 非常勤	名 名	アレルギー専門医（耳鼻咽喉科）	常勤 非常勤	名 名
アレルギー専門医（小児科）	常勤 非常勤	名 名	アレルギー専門医（皮膚科）	常勤 非常勤	名 名

1-3 貴院におけるアレルギー疾患診断・治療・管理についての状況を教えてください。（○を付けてください。）

診断	アレルギー全般	アレルギー同定の検査実施および評価（血液検査、プリックテスト、パッチテスト等） アナフィラキシーの原因同定	
	肺及び下気道領域	肺機能検査・NO測定・呼吸抵抗測定、気道過敏性試験等を用いた呼吸機能の評価 気管支喘息及び鑑別疾患の正確な診断	
	皮膚領域	アトピー性皮膚炎の正確な診断	
		重症及び難治性アレルギー性皮膚疾患の正確な診断	
	上気道領域	アレルギー性鼻炎の正確な診断	
		下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の正確な診断	
	眼領域	アレルギーが関与する眼疾患の正確な診断	
食物アレルギー領域		運動誘発試験を含む食物経口負荷試験の実施および評価 重症および難治性食物アレルギーの診断	
治療	アレルギー全般	アレルギー免疫療法の実施（舌下・皮下）	
	肺及び下気道領域	重症及び難治性気管支喘息の治療	
	皮膚領域	重症及び難治性のアトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚疾患の治療	
	上気道領域	重症及び難治性の下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の治療	
	眼領域	重症及び難治性の眼領域アレルギー疾患の治療	
管理	アレルギー全般	重症及び難治性アレルギーの長期管理	
	食物アレルギー領域	重症及び難治性食物アレルギー疾患の長期管理	

1-4 拠点病院が開設するホームページ「アレルギー疾患情報サイト」で 貴院情報を掲載することについて  
 ※所在地やアレルギー専門医の在籍状況等を、県内地図を用いて表示することを想定しています。  
 【 可能 ・ 不可 】

2 貴院に、日本小児臨床アレルギー学会認定「小児アレルギーエデュケーター（PAE）」は在籍していますか。  
 【 はい ・ いいえ 】 → 「はい」の場合、以下2-2、2-3について、教えてください。

2-2 貴院における「PAE」の在籍状況について教えてください。

PAE 看護師	常勤 非常勤	名 名	PAE 助産師	常勤 非常勤	名 名
PAE 薬剤師	常勤 非常勤	名 名	PAE 管理栄養士	常勤 非常勤	名 名

2-3 県民のアレルギー疾患の自己管理能力の向上や、保育所・幼稚園・学校等における取り組みの向上に当たっては、PAEにその専門性を活かして、研修会講師等の御協力を賜りたいと考えています。  
 貴院に在籍するPAEによる、拠点病院事業の運営への協力の可否について、教えてください。  
 【 可能 ・ 不可 】

千葉大学医学部附属病院アレルギーセンター（小児科） 駒屋宛て FAX：043-226-2293

施設名 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_  
 ご担当者 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_  
 FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

1 貴院における「アレルギー専門医」の在籍状況について教えてください。

アレルギー専門医（内科）	常勤 非常勤	名 名	アレルギー専門医（耳鼻咽喉科）	常勤 非常勤	名 名
アレルギー専門医（小児科）	常勤 非常勤	名 名	アレルギー専門医（皮膚科）	常勤 非常勤	名 名

1-2 貴院におけるアレルギー疾患診断・治療・管理についての状況を教えてください。（○を付けてください。）

診断	アレルギー全般	アレルギー同定の検査実施および評価（血液検査、プリックテスト、パッチテスト等）	
		アナフィラキシーの原因同定	
	肺及び下気道領域	肺機能検査・NO測定・呼吸抵抗測定、気道過敏性試験等を用いた呼吸機能の評価	
		気管支喘息及び鑑別疾患の正確な診断	
	皮膚領域	アトピー性皮膚炎の正確な診断	
		重症及び難治性アレルギー性皮膚疾患の正確な診断	
	上気道領域	アレルギー性鼻炎の正確な診断	
下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の正確な診断			
眼領域	アレルギーが関与する眼疾患の正確な診断		
食物アレルギー領域	運動誘発試験を含む食物経口負荷試験の実施および評価		
	重症および難治性食物アレルギーの診断		
治療	アレルギー全般	アレルギー免疫療法の実施（舌下・皮下）	
	肺及び下気道領域	重症及び難治性気管支喘息の治療	
	皮膚領域	重症及び難治性のアトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚疾患の治療	
	上気道領域	重症及び難治性の下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の治療	
	眼領域	重症及び難治性の眼領域アレルギー疾患の治療	
管理	アレルギー全般	重症及び難治性アレルギーの長期管理	
	食物アレルギー領域	重症及び難治性食物アレルギー疾患の長期管理	

1-3 拠点病院が開設するホームページ「アレルギー疾患情報サイト」で 貴院情報を掲載することについて ※所在地やアレルギー専門医の在籍状況等を、県内地図を用いて表示することを想定しています。

【 可能 ・ 不可 】

2 貴院に、日本小児臨床アレルギー学会認定「小児アレルギーエドゥケーター（PAE）」は在籍していますか。

【 はい ・ いいえ 】 → 「はい」の場合、以下2-2、2-3について、教えてください。

2-2 貴院における「PAE」の在籍状況について教えてください。

PAE 看護師	常勤 非常勤	名 名	PAE 助産師	常勤 非常勤	名 名
PAE 薬剤師	常勤 非常勤	名 名	PAE 管理栄養士	常勤 非常勤	名 名

2-3 県民のアレルギー疾患の自己管理能力の向上や、保育所・幼稚園・学校等における取組みの向上に当たっては、PAEにその専門性を活かして、研修会講師等の御協力を賜りたいと考えています。

貴院に在籍するPAEによる、拠点病院事業の運営への協力の可否について、教えてください。

【 可能 ・ 不可 】